

簡単水やり!

SIMERUS水やりテープ¹⁵

ペットボトル型簡易自動水やり器

- ★ ペットボトルのキャップにテープをかけて土に挿すだけ!
- ★ ペットボトルに穴あけ不要
- ★ テープが土の乾湿にあわせ自動給水
- ★ 自動水やり器が 15 個できて、留守時も安心、毎日の水やりも楽々!
- ★ 底面灌水にも利用できます



15枚入

一本製品のご使用にあたりご用意頂くもの

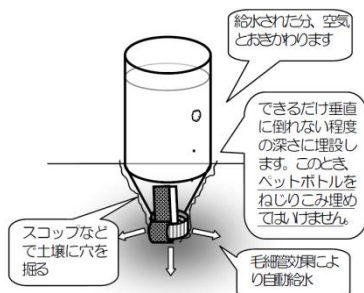
- ★ 清涼飲料水などのペットボトル (キャップも使用します)
 - ※ 2000ml 以下の容量のものを推奨します。さらに、ペットボトルのレンズ効果による火災事故防止のため、カバーをするなど対策が必要です。
 - ※ 簡単に手でつぶせるような強度の小さいペットボトルのご使用はお控えください。
- ★ スコップ (移植コテ、先の細いものが好適) など
- ★ 水道水、清浄な雨水など
 - ※ 必要に応じて、じょうご等、転倒防止にペットボトルを支える支柱、紐の類

使用方法

SIMERUS水やりテープをミシン目に沿って切り離し、右のように黒の面を表にキャップにかけ、水を入れたペットボトル(2L程度まで)に水やりテープの端を内側に入るようにセットし、ゆるく締め(キャップが外れない程度で、ゆるゆるで十分です)、上下逆にして、キャップが外れて水が大量にこぼれない程度に取り付けて下さい。

※ これで、ペットボトルの横を少し押ししてみて、水がしたたり落ちる程度の隙間が作れたことになっています。次に土壤面に 5cm-10cm 深さ (ペットボトル先端部が埋まる程度)の穴を掘り、ペットボトルを逆さまにしてキャップ部を下に水やりテープが十分土壤に接触するように垂直に埋めてセットします。

※初めて設置したとき、たいてい水がたくさん出ます。その後、土壌と水分がバランスすると落ち着き安定します。



給水量が多ければ →キャップをもう少し締めてみます。
給水がひどく少なければ →キャップが締りすぎていませんか。
ペットボトルの本数によって給水量の調整ができます。

※土の乾湿に合わせて非常にゆっくりとしたスピードで給水され、土を軽くしめった状態に保ち、鉢底に無駄水が殆ど出ません。

留意事項

- ※ 水やりテープ近辺に水を求めて根が集中することがあります。この場合、埋設位置を適宜変えるのが好適です。
- ※ 本製品は、土壤の毛細管作用を利用しており、砂質土壤等では十分な性能が得られない場合があります。
- ※ ペットボトル口のネジ部、キャップ内側、SIMERUS水やりテープ自体に土壌が付着した(かみこんだ)状態でセットしようとするとテープが破損しやすくなりますので、その場合は洗浄を行ってください。
- ※ 留守に使用する場合は、数日前より給水量を調節して下さい
- ※ 底面灌水で利用する等、応用法は弊社ホームページをご覧ください。Webで、[緑水学舎](#)を検索、または下記URLにアクセスして下さい。
- ※ Eメールでお問い合わせの場合は、件名欄に **テープ問い合わせ** と明記お願いいたします。

* SIMERUS水やりテープ®は株式会社緑水学舎の登録商標です。

株式会社緑水学舎

大阪府大阪市北区梅田 1-11-4-923
大阪駅前第4ビル9階

HP URL <http://www.simerus-rg.com/>
E-MAIL customer@simerus-rg.com

【日本製】



警告

本水やりテープの装着・設置後の調節状態、水分状態等によっては、植木鉢の底から水がしみ出る場合がありますので、家電製品など水に濡れて困るものの上に鉢を置かないで下さい。また、安全のため、鉢用受け皿は必ず使用してください。転倒誤飲等の事故を防ぐため幼児の手の届かないところでご使用下さい。

本製品は、2000ml程度までのペットボトルの活用を考えて設計されております。レンズ効果として知られるペットボトルの収れん火災の防止のため十分な遮光等の対策をお願いします。さらに、燃えやすいものを近くに置かないようにしてください。

ペットボトルは、十分な強度を持つものをお使いください。

免責事項

本製品は、家庭園芸向けの植物用簡易給水用の製品です。本製品の不適切な使用、目的外の使用により生じたあらゆる種類の不利益等について当社は一切責任を負いません。また、植物の生育を保証するものではありません。

取扱説明書についてのご注意

本製品の仕様に関しては、将来予告なしに変更することがあります。本説明書の内容に関しましてご不明な点などがありましたらご連絡ください。

廃棄について

本製品は、ご使用後は燃えるゴミとして処分できます。この給水テープは、ペットボトルなどリサイクル原料を利用した、燃やしても有毒ガスが発生しない材質(プラスチック等)ですが、廃棄については公共団体の定める指定に従ってください。